

会 議 録

会議の名称	令和5年度 第5回西東京市環境審議会
開催日時	令和6年1月17日(水) 午後6時から
開催場所	西東京市役所田無庁舎5階503会議室
出席者	<p>【委員】松本委員(◎)、矢守委員(○)、国眼委員、村田委員、赤司委員、高木委員、田村委員、大黒委員 ※◎：会長、○：副会長</p> <p>【事務局】中澤環境保全課長、西川課長補佐(兼係長)、三城主査</p> <p>【傍聴人】 0名 【欠席者】 泰江委員、大上委員</p>
議 題	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 第4回西東京市環境審議会会議録(案)の確認について</p> <p>(2) 第3次環境基本計画答申(案)について</p> <p>(3) 第2次環境基本計画後期計画推進状況報告書について</p> <p>(4) その他</p> <p>3 閉会</p>
会議資料の名称	<p>資料1 令和5年度第4回西東京市環境審議会会議録(案)</p> <p>資料2 西東京市第3次環境基本計画 答申(案)</p> <p>資料3 令和4年度西東京市第2次環境基本計画後期計画推進状況報告書</p> <p>【参考】西東京市第3次環境基本計画(素案)に対するパブリックコメントについて</p>
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p><1 開会></p> <p>○会 長： 定刻となったため、西東京市環境審議会を開催する。まず、事務局から本日の欠席委員の連絡、傍聴希望者、資料の確認の説明をお願いします。</p> <p>○事務局： 本日は、委員10名中8名の参加となり、過半数を超える委員の出席があるので定足数に達しており、会議は成立していることの報告を申し上げる。また、本日傍聴希望の方はいない。</p> <p>○会 長： 資料の確認をお願いします。</p> <p>○事務局： それでは、資料の確認をする。事前にメールにて送付している。送付したものは事務局の方で印刷し用意している。まず本日の会議の次第、資料1「令和5年度第4回西東京市環境審議会の会議録案」、資料2「西東京市第3次環境基本計画答申案」、資料3「令和4年度西東京市第2次環境基本計画後期計画推進状況報告書」。また参考として、「西東京市第3次環境基本計画素案に対するパブリックコメント」である。</p>	

<2 議事>

(1) 令和5年度第4回西東京市環境審議会会議録(案)の確認について

○会 長： それでは、これより議題に入る。議題(1)第4回西東京市環境審議会会議録(案)の確認について、事務局の説明を求める。

(事務局より、会議録について説明)

○会 長： 今、事務局より説明があったが、修正等があれば挙手をお願いする。なければ会議録についてご承認いただいたということでしょうか。異議なしと認め、会議録については承認した。

(2) 西東京市第3次環境基本計画答申(案)について

○会 長： それでは、議題(2)西東京市第3次環境基本計画答申(案)について、事務局より説明をお願いします。

(事務局より、環境基本計画答申(案)ならびに参考資料について説明)

○会 長： それでは、事務局からの説明に対し、意見や質問等ある方は挙手をお願いします。

○委 員： 5頁の計画の位置づけについて、既存の計画と今回の計画の位置づけを整理いただき非常に分かりやすくなった。また、52頁のゼロカーボンシティ戦略の位置づけについても、図と説明文を入れていただき分かりやすくなった。ただ33頁に違和感がある。目次を見ると、基本方針1の中に「1 西東京市地球温暖化対策実行計画」と「2 西東京市気候変動適応計画」が入っているが、33頁の基本施策と目標についての章立てがなく「2」の中に入っているように感じる。目次を見ただけで分かるよう章立てを追加できないか。

○事務局： 33頁の上部に「3」など見出しを入れた方が良いということか。

○委 員： その通りである。

○事務局： 見やすくなるよう章立て等を検討させていただく。

○委 員： 26頁から気候変動適応計画が記載されているが、法改正があり令和6年4月に対策の強化が打ち出される予定と聞いている。その辺りの内容は触れないのか。

○事務局： 概要的な説明では特に触れていないが、35頁の「施策2-2 健康的な生活の確保」の①において、シェルターの内容を示している。26～31頁の中に記載した方が良いということか。

○委 員： 最近の動向について、他の市町村を見ると触れているところがある。

○事務局： 取組の中では法改正の内容を意識している。記載すべきかどうか検討させていただく。

- 委員： みどりの基本計画と生物多様性地域戦略の関係性について、緑の保全等どう整合を図っていくのか。
- 事務局： みどりの基本計画の中にも生物多様性というキーワードが入っているが、実態はおそらく環境保全課にゆだねられると考える。ただ、みどりの基本計画を所管するみどり公園課と調整・連携は取れる状態だとしてご理解いただきたい。
- 会長： 他はいかがか。
- 事務局： 木曜日に本会議の資料を電子で送付したが、月曜日に到着された方がいると聞いている。答申までに少し時間があるので、今日この場で意見等が出なくても、引き続き意見をいただければと思う。
- 会長： 意見を出すのにもう少し時間があると分かったが、本日の事務局持ち帰りの部分についてはどうか。
- 事務局： 後日、検討結果を皆様にお知らせする。
- 会長： その際に、意見等をいつまでに返答すべきか記載をお願いしたい。また、修正版の送付時期はいつ頃か、目安を教えてください。
- 事務局： 今後のスケジュールと関係しているため、合わせて説明させていただきたい。今説明しても良いか。
- 会長： お願いします。
- 事務局： 今後のスケジュールについて説明する。環境基本計画の市長への答申は2月15日（木）を予定している。本日確認いただいた計画答申案は、本日いただいたご意見ならびに庁内調整を経て最終確定させていただく。本日以降、委員の皆様でお気づきの点があれば、1月24日（水）までにお寄せいただきたい。最終的な修正の決定については、会長、副会長、事務局に一任いただいた上で、1月25日以降に委員の皆様を送付させていただくので、ご確認いただきたい。
- 今回の基本計画は、内容もさることながら見やすさについても考えて作ってきたつもりである。本日も委員をはじめ、ご意見をいただき、見やすさという観点から修正が必要な部分があるという認識がある。ぜひ委員の皆様には、見やすさという視点からもう一度お目通しいただきたい。
- 会長： 現状の計画案で意見等あればという理解で良いか。
- 事務局： その通りである。
- 会長： では、次の議題に移らせていただく。

(3) 令和4年度西東京市第2次環境基本計画後期計画推進状況報告書について

- 会長： それでは、議題（3）西東京市第2次環境基本計画後期計画推進状況の報告について、事務局より説明をお願いします。

(事務局より、推進状況報告書について説明)

- 会 長： それでは、事務局からの説明に対し、意見や質問等ある方は挙手をお願いします。
- 委 員： まずABCの評価について説明いただいたが、意味が分からなかった。たくさんやったことがあるので、その中のいくつか取り上げて評価するのではなく、ひとつひとつ評価して欲しい。全てAだったからAだとか、満たせなかったものがひとつBやCがあったから・・・という評価方法なら分かる。また、杉の木換算という話が何回も出てきたが、説明いただいた数字が文書にあるのか分からなかったのが2点目。3点目は8頁の表において、令和5年の公園の面積やボランティアの数の目標値が下がるのはどういうことか。また22頁の上の表において、例えば環境学習事業数では令和5年は140事業を維持とあるが、前年度は65事業とありかなり差がある。その下の項目も同様である。
- 事務局： 評価については、例年各課に施策の調査をお願いし自己評価という形でいただいている。その各担当課からいただいた評価に基づいて事務局の評価を施策単位で出している。
- 委 員： ○や◎で示されている取組ひとつひとつに、以前はA3用紙で評価があったと思うが、それは省かれているのか。
- 事務局： 昨年度の本審議会において、各担当課の自己評価だけをそのまま審議会に出すのはどうかという意見をいただき、各課の自己評価を事務局で見た上で事務局評価、市の評価として掲載させていただいている。
- 委 員： 先ほどの説明だと、取組のいくつかについて、出来ている・出来ていないからB評価という説明だったが、この1番上についている評価は総合評価で合っているか。
- 事務局： 施策ごとの総合評価という認識で合っている。
- 委 員： 個別のいくつかの取組の話だけが総合評価に反映されているのかが分からない。
- 事務局： 取組ごとに評価の説明をしたいところだが、時間の関係上、事務局説明としては、令和4年度から新規に行った事業の評価と課題として残ったことを説明させていただいた。つまり、ピックアップしなかった事項は、令和3年度に引き続き令和4年度も出来ているもので、ピックアップした事項は、令和4年度に新たに出来たこと、もしくは出来なかったものである。
- 委 員： 申し訳ないが、分からない。
- 事務局： 各施策を事務局の方で評価するにあたり、特徴的な部分をピックアップして説明している。説明をしていない、例えば3頁施策①では、黒丸2つと白丸2つあるが、Bという評価をするにあたり、特に注目した取組について

て、ピックアップして説明をさせていただいた。説明していない部分は、前年度から引き続き同じように取り組んでおり、特徴的なものを捉えていないので、その説明は省略させていただいた。

○委員： A評価となっている施策は、この丸が全て出来ているということか。また、B評価となっている施策は、指摘のあったものは課題があるが、その他は全て出来ているということか。

○事務局： その通りである。

○委員： そのような説明があると理解できる。せめてなぜBなのかという文章がこの枠の中にあると良い。

杉の木換算については、例えば3頁に杉の木換算255本と書いてあるが、先ほど何本と言われたか。

○事務局： 先ほど49本と申し上げたのは、令和3年度と令和4年度を比較して49本削減量が増加したことをご案内した。

○委員： どこにもその49本という数字が出ていないので、分からなかった。

○事務局： 3頁施策①の最初の黒丸、市内小学5年生の下りだが、取組結果の集計を終え、二酸化炭素排出量の削減効果が約3,557キログラム。これを杉の木換算で255本。先ほどの比較の方は、令和3年度と令和4年度を比較して49本と説明した。

○委員： どこにもその49本と書かれていない。どこを説明しているのか。

○事務局： 3頁の今の黒丸の部分については、令和4年度の実績を記載している。つまり、以前の実績は表記していない。なので、今お話のあったように、令和3年度のことと触れていないから、その差分も当然この中に説明が入っていないので分かりづらいという指摘と理解した。

○委員： その通りである。説明がなかったので、何を言われているのか分からなかった。

○事務局： 次に、8頁の環境指標について回答する。令和5年度の目標というのは、この第2次環境基本計画の当初の目標値である。目標が下がっているのではなく、既に目標値を超えているということである。

○委員： 理解した。

○事務局： 次に、22頁の目標の件について回答する。当初は1,500人と目標を立てたが、昨今の新型コロナの影響でエコプラザが使えない等の事情があり、このように目標と実績に差が出ている。

○委員： 理解した。

○会長： 23頁施策②環境情報の共有のところ、黒丸2つ目について、我々が作った環境アワードを実施した。これは2回目ではなかったか。

○事務局： 今年度が2回目で、記載しているのは令和4年度で1回目の取組について

である。

○会 長： 理解した。

○委 員： 先ほどの22頁でも、事情があって令和5年度の目標値はこうなっているという説明があったが、令和4年度の評価をするのであれば、令和5年度の目標値は入れなくても良いのではないか。

○事務局： 最初から令和5年度を入れない方が分かりやすいということか。

○委 員： 数字が減ったり、実態と差がある数字が出ると混乱するのではないか。

○事務局： その通りではあるが、計画の目標に向かって取り組んでいることが分かるように、最終年度の令和5年度の目標値を掲載した。

○委 員： 理解した。

○委 員： 第2次環境基本計画後期計画の本報告書は、政策に沿って令和4年度について評価したものということか。

○事務局： その通りである。

○委 員： そういう基準で令和4年度を評価して、事務局なりに、令和3年度と比較して新しいものはこれで、良かったやもう少しと評価しているということか。

○事務局： その通りである。

○委 員： これをどのように生かすのか。

○事務局： 課題があるということで、次年度以降、今年度のことになるが、課題に取り組んでいる。

○委 員： この報告書の扱いは、環境保全課の方々が評価して、我々が審議会としてコメントして、ただ決定機関ではないので意見は言うけど、最終的には環境保全課が取りまとめる。それを公表するためにやっているのか、扱いがよく分からない。

○事務局： 公表については、報告書のみを特出しはしていない。例年、環境白書、環境白書のレポートという形で令和4年度の取組を市のホームページに載せている。この報告書自体は、審議会の資料という扱いで市のホームページに公表し、情報公開コーナーにも置かせていただく。

○委 員： この報告書を見せていただき、色々活動していただき、感謝の気持ちが大きいですが、来年度は令和5年度、最終年度の評価を行うことになる。来年度は単年の評価もするし、後期計画の評価もするし、10年間の計画全体の評価も行った上で、西東京市としてこの第2次環境計画がどれだけ上手くいったのか、というところまで行うのか。

○事務局： 後期計画で5年、全体で10年ということで、この10年を遡って、毎年どのような評価をしてきたのか、振り返る必要がある。今回、各課の自己評価から改めて事務局が評価をし直したという点で、評価の仕方について変遷

があり、過去を遡って総括することは難しいと考える。

- 委員： 例えば令和5年度の目標を立てているが、実績がその目標に達していないのにずっとA評価だったといのは、形としてよくないのではないか。最終的にどのように報告書をまとめるのか、考え始めた方が良いと感じる。
- 事務局： 各課の取組は各課の考え方で、順調に進めてきたという意味でのA評価になると考える。各取組のA評価がたくさん集まったとしても、大きな施策の評価としてA評価になるかというところではない。いわゆる評価のギャップというが、検討する必要があると考える。
- 委員： 目標値は数値ではっきり出ている。結局達成しなかったが、今までは全てA評価だったというのは、そもそも計画がおかしいという話になるのではないか。
- 事務局： 数値が出ているものに関しては、確かに数値で達成している、していないと評価できる。ただ、取組の中には数値評価できない、もしくは設定していないものもある。なので、目標に対してどう進めたかどうかというポイントでも評価せざるを得ないと思っている。そのような積み重ねで、先ほど申し上げたように、大きな施策と各取組のそれぞれの評価にギャップが発生してしまうと認識している。事務局としても悩みどころだと感じている。
- 委員： 難しいことはよく分かる。そもそも数値で挙げているデータとそれぞれの施策がどう繋がるのか、効果があるのか分からない。環境関係は、はっきり効果が分かるものも一部にあるが、あとは努力賞のようなもので、やらないよりは、やった方が良いということがたくさんある。それも大切なことで、数値を目指してやったことが、前向きに進んだということの評価せざるを得ないのだろう。
- 事務局： その通りである。環境分野はやってもなかなか進まない、効果が見えない・見えづらい。かと言って、その施策を全く評価しないわけにもいけない。その中で、このような評価基準を設定しているのご理解いただきたい。
- 委員： この評価は、何らかの形で市民が知ることは出来るのか。これは各課で今年の施策を評価して、それを基に事務局が評価されてという流れになっているが、例えば各課でこういう取組をした、こういうイベントを開いたというような、具体的なことは分かるが、それが達成出来なかったというのは、市民がそこに参加しなかったから。ゴミの量においても、施策をしている側がいくら努力しても、市民一人一人の出す量が増えていると達成出来ない。市民の意識がすごく関わっている。だから評価も何らかの形で市民にバックして、これしか出来なかった、頑張らなくちゃいけないと市民

に思っていたかないと評価の意味がない。どういう形になるか分からないが、こういう評価をした、実際はこれしか達成出来なかったという結果も市民に伝わった方が良くと思う。

○事務局： 審議会資料として、本日の資料は挙げることになる。ただ今の時点では、積極的にこういう評価をしたのでご覧くださいという広報は考えていない。事務局で起こした評価は、取組を行っている各課にフィードバックし、取組を更に進めていただく。

○会 長： 委員も言われていたが、今回でこの審議会の委員はほぼ終わり、次期の方々に、令和5年度の評価や5年10年の評価を委ねる形になると思う。ABC評価がなぜこうなったのかを残しておかないと次期の委員の方々が悩んでしまう。先ほど課長からあったように、評価の変遷がどうなったという話もあるが、事務局や委員の人が変わっても、このABC評価はこういう議論があったからこういう結果になったと分かるように残していただきたい。

○事務局： その点については、先ほどの委員のご意見に関連すると思うが、例えば3頁施策①では4つの取組実績を挙げて、それぞれABC評価をして、AがいくつあるからA評価、BがたくさんあるからB評価という評価の手法、つまり取組の評価と施策の評価の関係性が示せると良いと考える。

○委 員： その通りだと思う。基本的にA評価は取組の評価が全部AだからAで、残念ながらひとつAでないものがあったからBにしたなど、考え方を記載すれば良い。

○事務局： 検討させていただく。

○会 長： 他はいかがか。

それでは、次の議題に行かせていただいでよろしいか。

(4) その他

○会 長： 議題(4)その他について、事務局より報告事項あればお願いします。

○事務局： 今年度の審議会は今回で終了となる。委員の皆様の任期は6月30日までであるが、来年度の審議会は7月以降となるため、この構成員での審議会は最後となる。我々の説明がたどたどしい点もあり、皆様の理解の促進に努められなかったところを反省している。この審議会の構成員として2年間ご尽力いただきありがとうございました。事務局からは以上。

○会 長： 委員の皆様からはいかがか。

○委 員： ありがとうございました。計画はあくまでも計画なので、これを実行していかなくはいけない。私は教育委員会という立場なので、この計画をどういう風に子供たちや未来に繋げていくかを学校の先生方と考えていき

い。

○委員：環境アワードについて、2年間ここで携わったので、1回目と2回目で減ってしまったことが残念だと今も思うのだが、2回目の締め切りの後に1つ追加があった。そこと少しご縁があったので、来年も応募をお願いしたのだが、そこが高校で、前回の時に、高校には案内を出していないという話があったと思うが、その高校の事務の方から、このような通知が来ないのかという話を伺った。私の方からは来年どうなるか分からないからと伝えたが、前回もこの環境アワードが浸透していくといいねという話が出たと思う。会議に出られなくなった後にも環境アワードが私たちに伝わってくると嬉しい。2年間ありがとうございました。

○委員：それに関係していると思うが、環境というのは一時やれば良いという問題ではなくて、継続することが大切。そういう意味で環境アワードはぜひ続けていただきたい。もうひとつは、一人だけ知っていてもダメで、多くの人が環境に携わることが非常に重要。長く、それから多くの人がいかに関与するか。そして、それをみんなで協力し合える雰囲気を持っているか。そういう意味では、この審議会は重要で、新しい提案もあり、良かったと思う。ありがとうございました。

○会長：この2年間、長いようで短い期間だった。たどたどしい会長で心細いところがあったと思うが、何とかここまで審議を進めてこられたのは皆さんのおかげです。私個人としては、途中で西東京市民ではなくなってしまったのですが、西東京市は1番長く住んでいた場所であり、今後も気になる場所である。西東京市はより良いまちを築いてこうとする良いまちだと思っており期待している。またご縁があればよろしく願いいたします。どうもありがとうございました。

<3 閉会>

○会長：これにて本日の環境審議会を終了とする。

以上